

日経管財株式会社

2024年9月 横浜・馬車道に事務所を移転！

代表／公認不動産コンサルティングマスター

大川 日出幸（おおかわ・ひでゆき）氏にインタビュー



新事務所から見える風景

Q：事務所移転のきっかけを教えてください。

大川：かつての事務所があった建物は、1967年建築と歴史が長い特定建築物ということもあり、耐震改修促進計画による耐震化が囁かれていました。ちょうど定期借家契約が2年後に切れることもあり、移転することを決意！ただ、いざ離れるとなると、「名残惜しい」気持ちにもなりました。窓からは横浜市開港記念会館や神奈川県庁本庁舎などを眺めることができ、ライトアップされた景色には残業での疲れも癒されます。本町通り周辺は「ハマのウォール街」として知られ、銀行をはじめ、多くの建造物が立ち並ぶ場所。やはり、横浜のくみなとみらい～馬車道～日本大通り>は魅力的なので、移転するのであれば、「周辺エリアで」という気持ちで探していました。

Q：新事務所の場所を選んだ理由は？

大川：JR 桜木町駅から徒歩圏内で対応ができる点、みなとみらい線馬車道駅3番出口から30秒程と分かりやすい点、横浜市役所や、横浜地方事務局の入る横浜第二合同庁舎へも雨の日でも傘がいらないくらい近いので、業務の面でもプラスになることから選びました。事務所の窓から外を見ると、この街で働く人や忙しく行き交う人、映画やCMなどの撮影クルー、歴史的建造物を熱心に描写している元気なシニアなど、国際色豊かで多国籍、多種多様な人々から「活力を頂ける」とも感じ、そこも決め手となりました。

Q：現在の馬車道～みなとみらいエリアのオススメスポットは？

大川：今まででも近くにいながら、知らない施設が多くて驚きました。周辺を歩き、皆さまへ観光案内ができるようになりたいです。直近で行ってみたい場所は、神奈川県歴史博物館、横浜中税務署（よこはま新港合同庁舎）です。中税務署は万国橋を渡った先にあり、建物が新しく、景色も良さそうな立地にあります。さらに興味があるのは、目の前に見える「ザ・タワー横浜北仲」です。市内でも高額なマンションとして知られ、4億円を超える部屋も販売されて

いるので、「景色はどんなものか」「内装はどのような感じなのか」を含め、隣地で建築途中のマンションと比較しながら動向が気になっています。もちろん、グルメにも注目！馬車道周辺でワンコインに近いおいしいランチ弁当、B級グルメを探したいと思っています。

Q：新事務所開設に伴い、今後の展望があればお聞かせください。

大川：今回の移転は、まさに成長や新たなステージを示す重要な決断です。オフィス環境の改善を目指し、昭和から平成の建物に移ることで、雇用の確保や従業員の働きやすさにも大きな影響があると思っています。さらに、クライアントのもとへのアクセス向上でビジネスチャンスの広がりも！業務効率も上がる馬車道で心機一転、すべてのステークホルダーに必要とされる企業へと飛躍したいと考えています。

Q：最後に読者の皆さまへ一言お願いします。

大川：インフレの影響で地価は高騰、マンションや戸建ての建築費も上昇しています。中古マンションは管理費・積立金を値上げできず、良し悪しが二極化しているといわざるをえません。中古戸建も、地域により空き家や買い物難民の増加、高齢者のおひとりささま問題などが起こり、管理不全に陥るエリアも生じている状況です。

弊社は、横浜市役所や横浜地方事務局が近くなったことで、各種サポートもより迅速に対応できるようになりました。ペアローン、共有、借地、実家の相続問題などをはじめとする不動産にまつわる“お困りごと”の解決はもちろん、お客さまの目的に向かい、成果や価値を出せるように活動してゆきます。今後ともよろしくお願いいたします。

（公認不動産コンサルティングマスター 大川 日出幸）

◆日経管財株式会社◆

住所：〒231-0005 横浜市中区
本町5丁目49 甲陽ビル3F
TEL：045-323-9211

大川氏の事務所 HP はコチラから→

